

事 務 連 絡

平成 31 年 1 月 24 日

正会員 事務局長 各位

公益社団法人全国産業資源循環連合会

専 務 理 事 森 谷 賢

平成 31 年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」

候補者推薦について（ご案内）

当連合会の事業につきましては、日頃から格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

標題の件、建設副産物リサイクル広報推進会議より、表彰候補者推薦のご案内がありましたのでご連絡いたします。

貴協会会員に対象者がおられますときは下記の要領にて推薦方お願いいたします。

#### 記

1. 推薦要領 別添の平成 31 年度推薦要領を参照のうえ、必要書類を提出してください。
2. 対象 建設関係の 3R への取り組みに関して顕著な実績をあげている団体等。
3. 締め切り 平成 31 年 4 月 15 日（月）必着
4. 提出先 公益社団法人全国産業資源循環連合会
5. その他 昨年リニア談合に関わったとされる 4 社（大林組、鹿島建設、清水建設、大成建設。また、4 社のいずれかを含む共同企業体も含む）の案件について、平成 31 年度は応募を受け付けないとの連絡がありました。推薦の際にはご留意ください。

候補者推薦は貴協会の推薦を受け、全国産業資源循環連合会推薦となります。

ご不明な点等につきましては、調査部 日浦（ひうら）宛ご連絡ください。

（裏面に続きます）

平成 31 年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」候補者推薦要領が必要な方は公益社団法人神奈川県産業資源循環協会 (info@p-rck.or.jp) にご連絡ください

[添付資料]

- 1 平成 31 年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」推薦候補者の提出について（依頼）（建設副産物リサイクル広報推進会議から联合会宛）
  - 2 平成 31 年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」のチラシ
  - 3 平成 31 年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰推薦要領
  - 4 様式 1 候補者の概要書（個人・グループ・学校用）
  - 5 様式 2 候補者の概要書（事業所・地方公共団体等用）
- （様式は <http://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/commend/> からダウンロードできます）

以上



平成 31 年 1 月 22 日

建設副産物リサイクル広報推進会議

代 議 員 各 位

建設副産物リサイクル広報推進会議  
会 長 佐 藤 直 良



**平成 31 年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」  
推薦候補者の提出について（依頼）**

建設副産物リサイクル広報推進会議の運営につきましては、格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会で毎年実施しております標記表彰制度につきまして平成 31 年度の募集が下記の通り開始されました。

該当する推薦がございましたら、当広報推進会議より 3 R 推進協議会へ推薦いたしますので、推薦候補者を当広報推進会議へご推薦頂きたく存じます。

つきましては、必要書類を当広報推進会議事務局宛にご提出くださいますようお願いいたします。

なお、3 R 推進協議会より依頼を受けて、建設関係の案件は当広報推進会議にて、取りまとめを行っております。

記

平成 31 年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」

<スケジュール>

- ・ 募集開始 平成 31 年 1 月 21 日（月）**4月15日（月）全国産業資源循環連合会 必着**
- ・ 応募〆切 ~~平成 31 年 4 月 19 日（金）~~ **当広報推進会議事務局 必着**
- ・ 審査結果通知 平成 31 年 9 月中旬予定（推薦機関宛に審査結果通知）
- ・ 表彰式 平成 31 年 10 月下旬、東京 予定

問合せ及び提出先

建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局  
（一財）先端建設技術センター 企画部 新妻 弘章・松坂 都  
〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6 オーク音羽ビル 4F  
TEL：03-3942-3991 FAX：03-3942-0424  
E-Mail：kensetu-fukusan@actec.or.jp

平成31年度

# リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

## 循環型社会の形成に実績のある功労者 募集

### 募集対象者

次のような取組に顕著な実績のある者

- 自らが実践する3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動
- 3Rを推進するための地域などと連携した活動
- ・地域などへの3Rの啓発・教育活動
- 3Rを推進するための仕組みづくり
- ・3Rを促進する製品の開発・普及などの活動 など

※比較的普及している3Rの取組であっても、他と比較して優れたところ、進んだところ、独自なところがあれば対象です。

### 応募方法

関係する推薦機関にご相談ください

推薦機関： リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会員団体、  
都道府県、政令指定都市、中核市、特別区、建設副産物対策地方連絡協議会

### 推薦締切

平成31年4月19日（金）建設副産物リサイクル広報推進会議事務局必着

### 表彰実績

平成30年度：内閣総理大臣賞2件

文部科学大臣賞1件、経済産業大臣賞2件、国土交通大臣賞5件、環境大臣賞1件

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞33件



平成30年度3R推進ポスター

### 3Rとは・・・

**Reduce（リデュース）** は、製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を少なくすること。耐久性の高い製品の提供や製品寿命延長のためのメンテナンス体制の工夫なども取組のひとつです。

**Reuse（リユース）** は、使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること。その実現を可能とする製品の提供、修理・診断技術の開発、リマニュファクチャリングなども取組のひとつです。

**Recycle（リサイクル）** は、廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること。その実現を可能とする製品設計、使用済製品の回収、リサイクル技術・装置の開発なども取組のひとつです。

主催：リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

<http://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/commend>



お問合せ・書類提出先：建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目15番6号 オーク音羽ビル4階 一般財団法人先端建設技術センター 企画部内  
[http://www.suishinkaigi.jp/diffuse/3r\\_commendation.html](http://www.suishinkaigi.jp/diffuse/3r_commendation.html)（電話）03-3942-3991（Eメール）[recycle@actec.or.jp](mailto:recycle@actec.or.jp)